

# 2016年1月 地域自然情報研究会



## ラムサール条約湿地・片野鴨池周辺における トモエガモの保全活動



田尻 浩伸 氏 (日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室室長)

トモエガモは極東アジアにのみ生息する希少なカモで、ロシア極東部で繁殖し、日本や韓国、中国などで越冬する。日本国内では、石川県、新潟県、島根県など日本海側に多く飛来し、水田で落ち粕などの植物の種子を採食する。現在の推定総個体数は50万羽から100万羽とされているが、分布域が限られていること、かつて環境の変化等から激減したこと、密集した大きな群れを形成することなどからIUCNのレッドリストでは経度懸念(LC)、環境省のレッドリストでは絶滅危惧II類(VU)とされている。

石川県加賀市の片野鴨池はトモエガモの国内最大級の越冬地で、近年も2000羽ほどが越冬する。片野鴨池周辺では水田の乾田化など環境の変化によりカモ類の採食適地が減少し、トモエガモを初めとしてカモ類の個体数が減少した。そのため、地元の農家の協力を得ながら冬期湛水などの保護活動が進められており、賛同者は少しずつ増えつつある。筆者らは保全を効率的に進めるため、トモエガモに電波発信器を装着して採食地を確認し、採食ポテンシャルマップを作成したほか、農家の負担を軽くできるような採食環境の創出方法の検討を行った。講演では、調査結果を元に進められている片野鴨池周辺の保全活動を紹介する。

### 開催日時

2016年1月16日(土) 14:00~16:00

### 参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

### お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail:gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局  
(担当:梶並)

### 会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室  
(エコギャラリー新宿)



### 地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

GCN NPO法人  
地域自然情報ネットワーク  
The Geocological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は  
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。  
<http://www.geo-eco.net/index.html>